

豊田景気実感調査

Viewing over Our Toyota's Economic Condition



第11号

発行日 2016.12.6

平成28年11月 調査結果 “景況実感は底這い、豊田の全国比優位は逆転”

	現状判断 D I				先行き判断 D I				水準判断 D I			
	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合	家計	企業	雇用	総合
豊田	43.8	49.3	50.0	46.4	47.4	48.8	50.0	48.1	44.7	47.9	55.4	46.6
全国	47.4	51.1	57.9	49.3	50.2	52.4	56.9	51.4	42.6	48.2	57.7	45.4
東海	44.2	—	—	49.5	48.7	—	—	52.1	39.7	—	—	46.7

【天気図の見方】 D I 値 大きな晴れ：60点以上／晴れ：50～60点未満／曇：40～50点未満／雨：40点未満

【まとめ】

前回5月調査に対し、今回の景気実感では、全国同様総じて改善の方向となりましたが、横這い圏内の微改善に止まりました。これに対し、全国(10月)が4月対比で明確な改善が図られており、統計データから算出した日本総合研究所の「中核市幸福度ランキング2016年版」で1位に輝いた豊田ですが、本調査に関しては、各判断の多くの部門において前回調査での豊田の全国対比優位性が後退し多くの部門で逆転となりました。特に先行き判断は、全国が全部門晴れマークに対し、豊田の晴れは1部門に止まっており、短い先行き判断ですが、少し景気実感に差が生じています。

〈特徴点〉

①. 全国対比優劣

	現状判断	先行き判断	水準判断
<逆転> 前回豊田優位 ⇒ 今回全国優位	家計、企業、総合	家計、企業、総合	企業、総合
<優位性キープ> 前回豊田優位 ⇒ 今回豊田優位	—	—	家計
<劣位のまま> 前回全国優位 ⇒ 今回全国優位	雇用	雇用	雇用

- 自動車産業の集積地である豊田において、製造業を含む企業関連部門がいずれもD I 50を下回っています。雇用関連部門も各判断項目で晴れマークに改善していますが、全国との間にまだ景気実感に差があります。
- 一方、今回調査で目立ったのが業種別で住宅関連の全国比優位です。不動産仲介業者や金融機関からの不動産登記依頼が増えているとの声や、建築現場における人員不足を指摘する声もあり、景気実感（マインド）が高い水準に維持されている様子です。また、飲食についても、現状判断や水準判断において大きく全国優位となっています。
- 特別調査では、個人消費の回復に繋がるような消費行動の変化の兆しは明確には観察されませんでした。しかし、所得見通しに関して、所得増への確信には至らぬものの所得増の現実感が増している様子が推察されました。また、資産運用に関しては、投資気運の高まりは特段観察されなかったものの、投資への流れを冷静に自分の状況に照らして見極めている様子が窺えました。

1. 調査期間：平成28年11月1日～18日

2. 調査客体：300名（家計/企業/雇用等） うち有効回答：256名 / 有効回答率：85.3%

3. 調査項目：・ 2～3ヶ月前から現在までの景気の変化をどう感じますか？ ⇒ 現状判断 D I
・ 現在から2～3ヶ月後までの景気の推移をどう予想しますか？ ⇒ 先行き判断 D I
・ 現在の景気的水準をどう判断されますか？ ⇒ 水準判断 D I

<問い合わせ先>
豊田商工会議所：深見
0565-32-4593
豊田信用金庫：高橋
0565-36-1384

4. D I 算出方法：

評価段階		5	4	3	2	1
評価	現状判断	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
	水準判断	良い	やや良い	どちらでも	やや悪い	悪い
付与点数		1	0.75	0.5	0.25	0

判断項目毎に、各評価段階の回答者数を合計し、合計値の構成比(100%)を算出します。その構成比に上記の付与点数を掛けて、合計値を算出します。その合計値が D I 値となります。D I 値はいわば“景況感の人気投票”です。

本調査は、豊田市に居住または勤務されている個人の方で、代表的な経済活動項目（家計、企業、雇用等）の動向を敏感にキャッチ出来る方を対象に、身の周りの景気の実感を聞く調査です。内閣府の「景気ウォッチャー調査」（こちらは毎月実施）の内容に準じて実施しています。豊田商工会議所と豊田信用金庫とが協同し半年に1回（5月/11月）実施しています。

なお、全国、東海との比較は、内閣府調査の10月結果との対比です。また、本調査独自に特別調査を決め、実施しています。

<調査にご協力頂いた皆さまに心よりお礼申し上げます。>

概 括

総合DI（豊田）



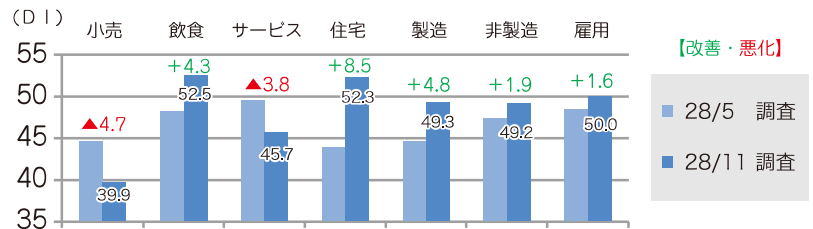
- 総合：曇りのまま。微改善
- 部門別
 - ・雇用：曇りから晴れに。改善
 - ・企業：曇りのまま。改善
 - ・家計：曇りのまま。悪化
- 全国比
 - ・総合：優位から劣位に。
 - ・3部門：3部門とも劣位。前回は2部門で優位（企業、家計）

前回比

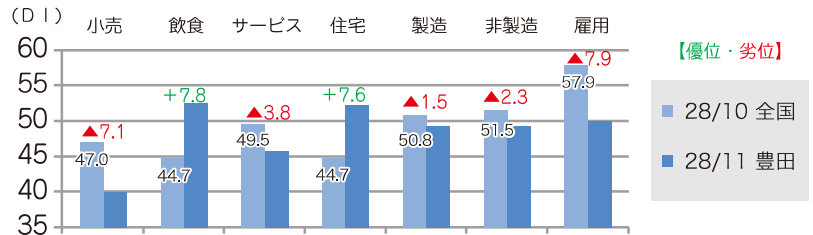
全国比

業 種 別 内 訳

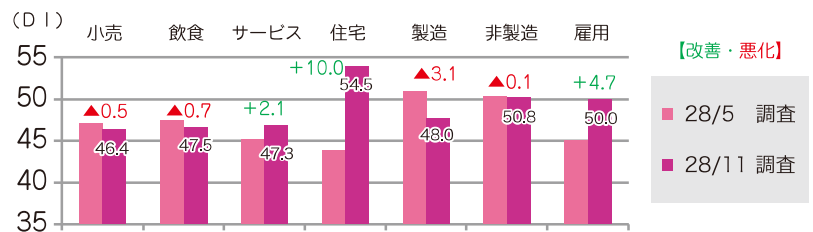
小売、サービス以外は改善。飲食、住宅、雇用が晴れに。小売は雨模様。



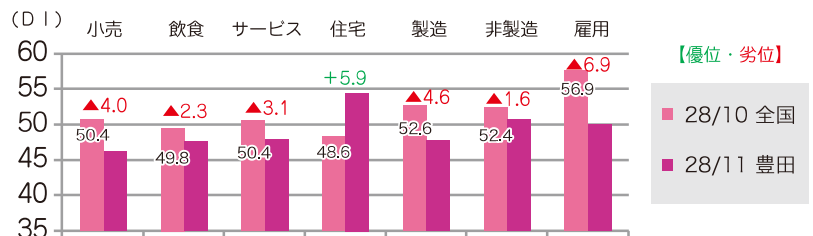
全国優位は住宅と飲食のみ。残りは全国比で劣位となった。



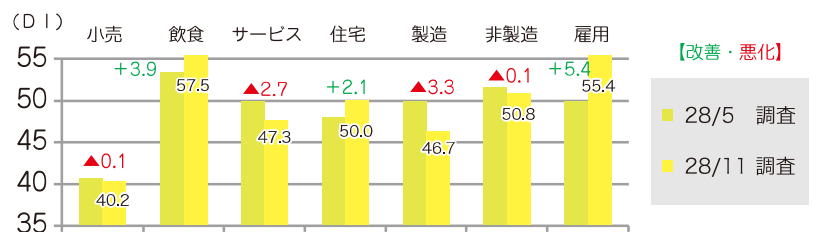
住宅が大きく改善、サービス、雇用も改善。反面、製造が悪化。



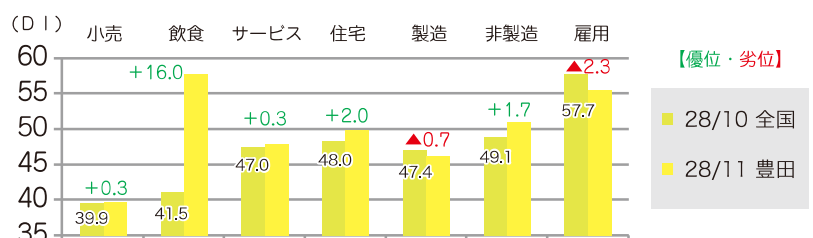
住宅はかなりの優位。雇用、製造、小売、サービスの劣位が目立つ。



改善は3業種（雇用、飲食、住宅）、悪化は製造、サービス等の4業種。



全国優位は飲食を含め5業種。一方劣位は2業種。製造は優位から劣位に。



現状判断

先行き判断

水準判断

総合DI（豊田）



- 総合：曇りのまま。悪化
- 部門別
 - ・雇用：晴れ継続。改善
 - ・企業：晴れから曇り。悪化
 - ・家計：曇りのまま。悪化
- 全国比
 - ・総合：全国優位維持。
 - ・3部門：家計のみ優位。前回は2部門で優位（企業、家計）

前回比

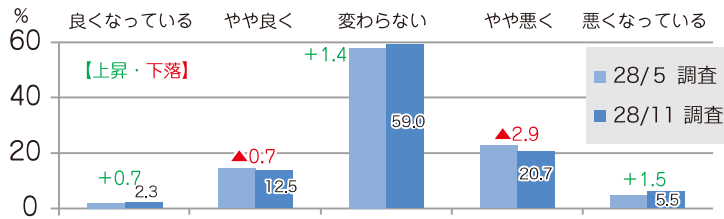
全国比

評価段階別内訳

景気モニター一生の声

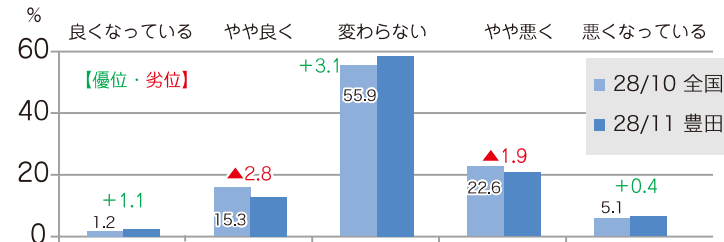
前回比

“やや悪く”が若干減り，“変わらない”，“悪くなっている”が増加。



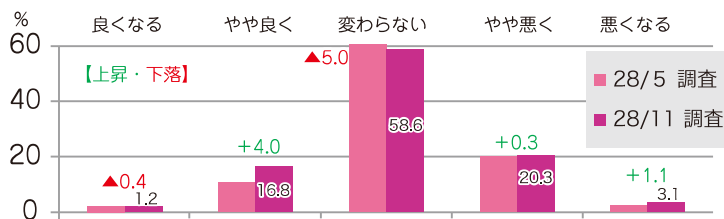
全国比

“変わらない”が若干多く，“やや良く”，“やや悪い”が少ない。



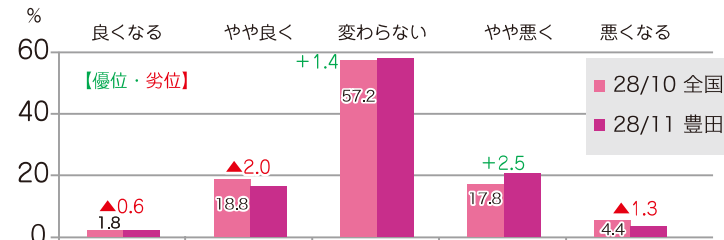
前回比

“変わらない”が減り，“やや良く”が増加。



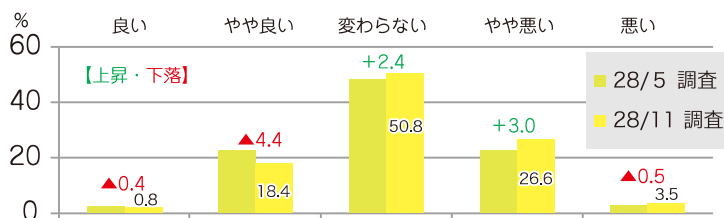
全国比

全国比で“変わらない”，“やや悪く”が若干多く，“やや良く”以上が少ない。



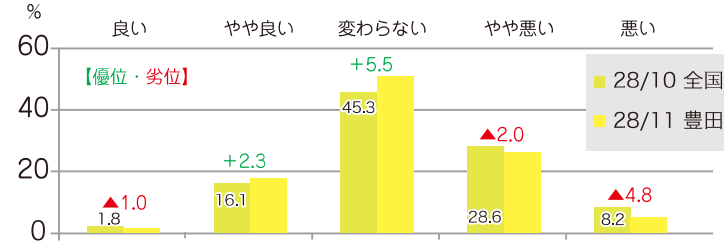
前回比

悪化の方向に評価が低下。“やや良い”が目立って下落。



全国比

全国比で“変わらない”が多いが、他は優位性を高める評価分布。



＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

- ＋：娯楽に対する支出に前向きな様子が続いている。
(旅行代理店従業員)
- ＋：不動産仲介業者や金融機関等から依頼を受ける不動産登記の件数が増えている。
(司法書士)
- ＋：学生の内定率(10月時点)が昨年比で高い状況。
(学校就業担当者)
- －：秋冬ものの動きが悪い。
(衣料品専門店経営者)
- －：訪日外国人旅行者(中国団体ツアー)が減っている。
(都市型観光ホテル経営者)
- －：キャンペーンなどを行うも以前ほど売上が伸びない。
(食料品製造業経営者)
- －：自動車生産量、生産計画台数が減少している。
(自動車製造業従業員)
- －：特に外食産業中心に人手不足感が強い。
(学校就業担当者)
- －：顧客の設備投資がひと段落し、先行き不安から新たな計画を先延ばしにしている。
(建設業従業員)

＜＋：回復感あり－：回復感なし＞

- ＋：ビジネス出張が戻りつつある。連泊も出てきた。
(都市型ホテル経営者)
- ＋：受注の安定推移、新規受注品の立ち上がりがある。
(自動車関連製造業従業員)
- ＋：企業の採用担当者から求人情報が多く届いている。
(学校就業担当者)
- －：クリスマス、年末関連の予約が伸び悩んでいる。
(コンビニ経営者)
- －：燃料費は落ち着いたが悪天候による野菜高騰で消費は伸びていかないと思われる。
(観光型ホテル従業員)
- －：自動車メーカーの減産予想から判断。
(輸送業経営者)
- －：米国大統領交代のマイナス影響が心配される。
(自動車関連製造業従業員)
- －：リニア関連の動きが延期しており、顧客の動きも足踏み状態である。
(窯業経営者)
- －：大型工事減少の影響が下へ下へ波及する心配がある。
(建設業経営者)

自由回答：景気モニターからの声 “一部紹介”

- ・豊田は恵まれた経済下にあると思います。更なる活性化で充足感を得られる都市経済の形成を期待する。
- ・豊田は自動車産業の街。自動車産業が悪くなったらどうになってしまうのか不安です。
- ・豊田市民は統計で見るとより貧しいと感じていると思う。
- ・豊田市内に大型ショッピング施設の誘致を。他市から人を呼べれば活気づくはずです。
- ・幼児教育を含め、もう少し教育に予算を充てて欲しい。
- ・仕事依頼が一気にきたり、全くなかったりで従来と様子が違います。難しい経済環境になっています。
- ・新業態の出現や経済情勢の変化が速く、中小零細企業では追従していくのが困難になってきている。
- ・震災、為替変動など先の見通しが立てづらいため、思い切った設備投資が難しい。
- ・新規事業への融資について、積極的にアドバイスや提案をしてほしい。
- ・これからも地域を支える活動、施策をお願いします。

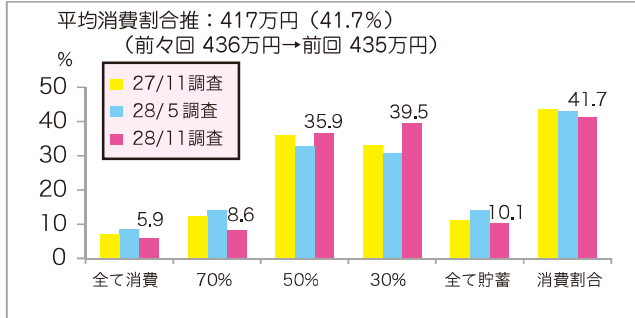
～ 貴重なご意見、ありがとうございました。～

【特別調査】

豊田市民の消費意欲・所得見通し・幸福度

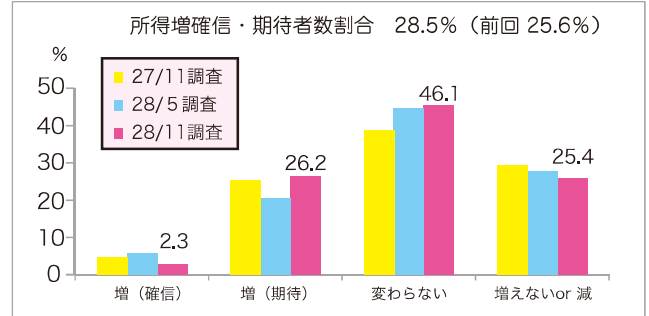
※平成24年から調査を継続しています。

宝くじ1000万円が当たった場合、何%を消費に回しますか？



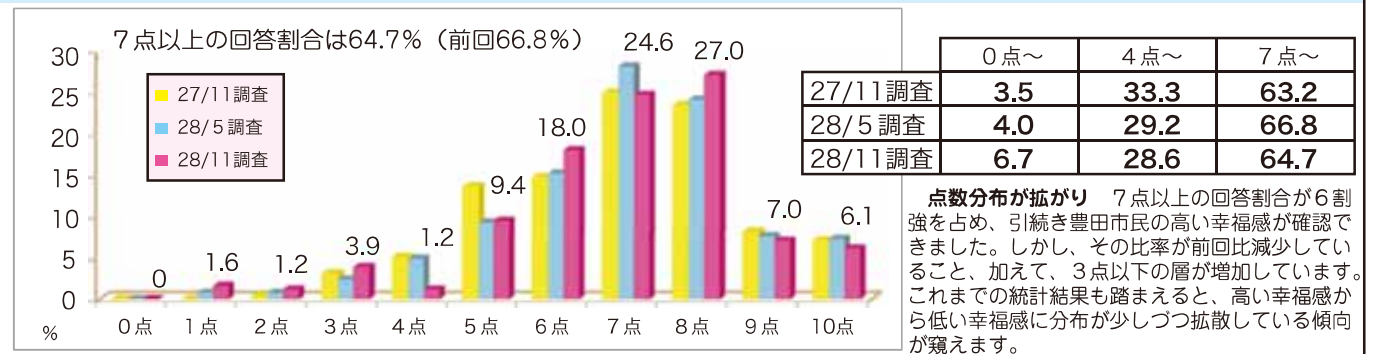
平均意欲は若干後退 今回の平均消費割合は41.7%と前回比若干減となりました。“全て貯蓄”が減ったものの、“70%以上消費”から“30%、50%消費”への振り替わりが見られたためです。

今後、所得は増えていくと思いますか？



所得増の現実感が高まる 所得増確信者数こそ減りましたが、①期待者数割合の増加、②“増えないあるいは減少”の減少、さらには③“変わらない”層の増加が小幅に止まったこと。これらを総合すると確信には至らぬものの、所得増の現実感の高まりが推察されます。

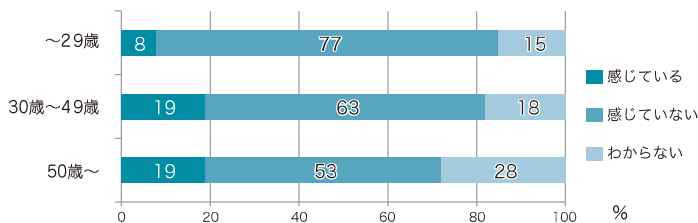
あなたの幸福度は何点ですか？ 【とても幸せを10点・とても不幸を0点とした場合の幸福度点数】



資産運用に関する意識調査

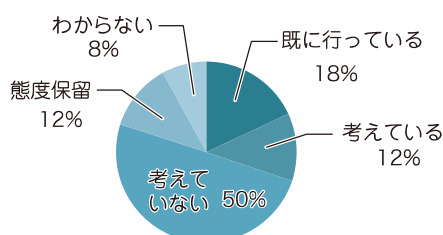
「貯蓄から投資へ」の気運の高まりを感じますか？

感じているは20%以下 各年代とも過半の方が「貯蓄から投資へ」の気運の高まりを“感じていない”と回答されました。とくに29歳以下の層では“感じていない”が77%、“感じている”は僅か8%でした。総じて、投資への関心の薄さも影響しているかも知れません。



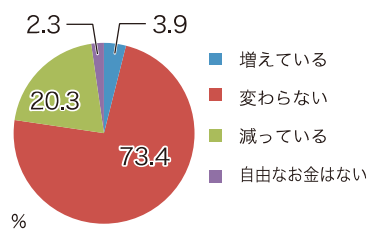
リスク商品での資産運用を考えていますか？

強い安全志向 リスク商品での運用は“考えていない”という方が50%を占めました。一方、“考えている”と“既に行っている”は合わせても30%でした。無用なリスクは取らないという豊田の土地柄を反映している結果かも知れません。投資スタンスも安全志向が強いことを窺わせます。



自由に使えるお金【小遣い等】は増えましたか？

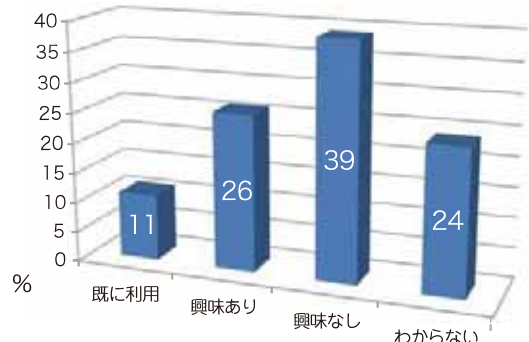
昨年同時期比の回答割合



増えない小遣い ほとんどの方が自由に使えるお金は昨年と変わらないと回答されています。消費割合、所得見通しが伸びていかないう状況を不足なく反映しているものと推察されます。

来年1月改正の個人型確定拠出年金への関心度は？

求めたい理解の浸透 “既に利用”と“興味あり”を合わせて37%でした。一方、“興味なし”はほぼ同水準の39%となりました。ただ、“よくわからない”方がまだ24%もあり、さらなる制度の理解浸透が期待されます。



次回調査は平成29年5月実施予定です。